

様式(論)6

氏 名	畑 亮輔
学 位 の 種 類	博士 (学術)
学 位 記 番 号	第 5805 号
学位授与年月日	平成 24 年 3 月 23 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 2 項該当者
学 位 論 文 名	介護支援専門員による家族介護者支援に関する研究 (Support for Family Caregiver by Care Manager in Home-based Care Support Center)
論文審査委員	主 査 教 授 要田 洋江 副 査 教 授 畠中 宗一 副 査 教 授 岩間 伸之 副 査 教 授 白澤 政和 (桜美林大学大学院老年学研究科)

論 文 内 容 の 要 旨

わが国では、介護支援専門員による家族介護者支援に着目した実証的研究はほとんど見当たらず、その支援の体系化は進んでいない。そこで本研究では、介護支援専門員による家族介護者支援の体系化および実践向上を目的として、実証的な方法を用いて研究を行うこととした。

まず第 1 章では、先行研究をもとに、現在求められている家族介護者支援について整理を行い、その支援を確立するための実証的研究の枠組みについて検討を行った。第 2 章においては、まず第 1 章で検討した実証的研究の枠組みにしたがって調査票を作成し、介護支援専門員を対象に調査を実施した。回収したデータに基づいて、因子分析および相関分析を行った。その結果、介護支援専門員による家族介護者支援に関する 5 因子が抽出された点や、それらの因子が介護支援専門員の性別に関連している点など、介護支援専門員による家族介護者支援とその特徴を明らかにした。第 3 章では、第 2 章で回収したデータをもとに、介護支援専門員による家族アセスメントについての因子分析を行い、2 因子が抽出された。また、第 2 章で明らかになった家族介護者支援の 5 領域を従属変数、介護支援専門員の基本属性と家族アセスメントの 2 因子を独立変数とする重回帰分析を実施した結果、家族アセスメントの 2 因子それぞれが家族介護者支援の全ての領域に関連している点など、家族アセスメントと家族介護者支援との関連について明らかにした。第 4 章では、同様のデータをもとに、居宅介護支援事業所の職場環境について因子分析を行い、4 因子が抽出された。また、第 2 章で明らかになった家族介護者支援の各領域を従属変数、そして職場環境の 4 因子と基本属性を独立変数とする重回帰分析を実施したところ、「同僚からのサポート」や「上司からのサポート」が家族介護者支援の各領域に関連を示した点など、居宅介護支援事業所の職場環境と家族介護者支援との関連について明らかにした。第 5 章においては、第 2 章から第 4 章までの結果をもとに、構造方程式モデリングを用いて家族介護者支援とその関連要因について検討を行った。その結果、いくつかの関連要因は「家族介護者の状態の把握」を介した間接的な効果である点など、家族介護者支援における家族アセスメントの重要性について明らかにした。

終章では、各章における分析結果および考察をもとに、「介護支援専門員による家族アセスメントの体系化」や「居宅介護支援事業所の職場環境におけるサポート体制の確立」など介護支援専門員による家族介護者支援に関する提言を行った。加えて、本研究の限界や今後の課題についても言及した。

論文審査の結果の要旨

本論文は、介護保険制度での介護支援専門員の家族介護者支援方法に示唆を与えることにある。6章構成で、第1章では家族介護者とその支援に関する文献研究を行い、第2章では、介護支援専門員による家族介護者支援の構造を明らかにしている。第3章では家族アセスメントと家族支援の関連性を、第4章では居宅介護支援事業所の職場環境と家族支援の関連性を分析し、第5章では家族アセスメントと職場環境の影響を考慮した家族介護者支援実践モデルを検討し、終章では介護支援専門員による家族介護者支援に関する提言をしている。

介護支援専門員 500 名を対象の調査（有効回収率：47.6%）をもとに、介護支援専門員による家族介護者支援が「家族の統合に向けた家族調整」「家族介護者と要介護高齢者に向けた情報提供」「家族介護者を考慮したサービス提供」「家族介護者への心理的な支援」「家族介護者への教育的な支援」の5因子からなることを明らかにした（第2章）。

家族介護者支援に関する5領域をそれぞれ従属変数とし、介護支援専門員が実施する家族アセスメントの「家族介護者の状態の把握」と「要介護高齢者・家族介護者との家族員との関係の把握」の2因子を独立変数とする重回帰分析の結果、「家族介護者の状態の把握」が家族介護者支援の5領域すべてに、「要介護高齢者・家族介護者との家族員との関係の把握」が「家族介護者を考慮したサービス提供」を除く4領域に有意に関連していることを示し、家族介護者支援には家族介護者の状態や家族員間の関係を把握することの重要性を示した（第3章）。

家族介護者支援に関する5領域をそれぞれ従属変数とし、居宅介護支援事業所における職場環境の構造である「同僚からのサポート」、「上司からのサポート」、「給与に対する満足」、「職場からの圧迫」の4因子を独立変数にする重回帰分析を行い、「同僚からのサポート」と「上司からのサポート」は、「家族介護者と要介護高齢者に向けた情報提供」と「家族介護者への心理的な支援」との間に、「同僚からのサポート」のみが「家族の統合に向けた家族調整」との間に関連があることを示した（第4章）。

職場環境が家族アセスメントと家族介護者支援を促進するという因果関係モデルを指定した構造方程式モデリングの妥当性を検証した。その結果、家族介護者支援に対して「家族介護者の状態の把握」が最も強い関連を示し、「上司からのサポート」「給与に対する満足」「研修回数」等は「家族介護者の状態の把握」を介した間接的な効果であることを明示した（第5章）。

論文は介護支援専門員の家族介護者支援のあり方について多くの知見を得ており、審査委員会は博士（学術）の学位に値すると認めた。